



吉敷の木
「もみじ」



吉敷の花木
「うめ」



吉敷の草花
「マリーゴールド」



吉敷の草花
「サルビア」

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI

2021

3

No. 780



豆あげる
こっち来るな どっか行けー!
「楽楽楽の刃」

CONTENTS

インフォメーション…… 2

【トピックス●】

子ども!大人も!

子ども会にいらっしゃ〜い…… 3

【吉敷の福祉・健康】

「手芸同好会」…… 3

【トピックス●】

人権学習推進啓発作品の
表彰が行われました…… 4

【トピックス●】

自助と共助で地域の川の環境を
守りつなぐために…… 5

レポート…… 6

【健康レシピ●】

「ちしゃなます」…… 7

リレーエッセイ…… 7

イベントカレンダー…… 8

かけはし…… 8

よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】 14,668 (前月比 +19) 【世帯数】 6,347 (前月比 +15)

令和3年2月1日現在



インフォメーション

行事等につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点などから中止または延期となる場合がありますので、予めご了承ください。

行事等中止・延期のお知らせ

■第50回吉敷地区大運動会(中止)
新型コロナウイルス対策としては、国の基本的対処方針として、多人数が集まる行事・イベント、特に大人数での歓声や声援が想定されるものに関しては慎重に検討するよう指針が出されています。

このような状況の中、吉敷地区大運動会実行委員会において指針に基づき協議した結果、4月18日(日)開催予定の「吉敷地区大運動会」を中止することとしました。

2年続けての中止となり、楽しみにしておられる皆様に対しては大変心苦しい限りですが、ご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

問い合わせ 吉敷地区大運動会実行委員会

☎083-922-13344

■えがお食堂よしき(6月まで中止)
問い合わせ えがお食堂よしき実行委員会

☎083-922-13344

育児相談

お子様の身体測定や、育児・離乳食に関することなど、保健師と栄養士が相談をお受けします。お友達づくりを兼ねて気軽にお越しください。

とき 3月10日(水) 13時30分～14時30分(受付時間)

場所 地域交流センター和室

申込 不要

準備 母子健康手帳

問い合わせ 子育て保健課

☎083-921-7085

古文書輪読会

「古文書輪読会」は、古文書の自主研究グループです。会員は現在8名で、毎月一回集まって、分からないところを教え合いながら古文書の解説を行っています。興味のある方はぜひご参加ください。

とき 毎月第4月曜日19時～20時30分

場所 地域交流センター 地域活動室

講師 山田 稔氏(山口博物館学芸専門監)

内容 大正時代の書状を読みます。

会費 500円(テキスト代)

申込・問い合わせ 文化振興協議会

☎083-922-13344



吉敷子ども英語クラブ

長身のアメリカ人ブライアン先生と楽しく英語に触れませんか。

まずは試してみたいという英語初心者の小学生は、4月は無料で受講できます。

とき 月曜日(月3回)

場所 地域交流センター 講座室

対象 小学1～6年生

定員 10名

会費 月2,700円(プリント代込み)

申込・問い合わせ 友森美奈子(下東)

☎080-1911-0870



吉敷人がやまぐち新進アーティスト大賞を受賞

将来の活躍が期待される芸術家に山口市が贈る「第11回やまぐち新進アーティスト大賞」に、佐々木範子さん(佐田)が選ばれました。

地域交流センター講座の講師をはじめ、地域でも活躍されています。



学校施設定期利用団体

令和3年4月1日から令和4年3月31日までの1年間を通して、学校施設を定期的に利用される団体を募集します。

対象施設

・良城小学校体育館

・良城小学校グラウンド

・鴻南中学校体育館

・鴻南中学校の夜間照明を使用するグラウンド(ナイター)

応募資格(要約)

・吉敷地域内に在住する者が10名以上で構成されたスポーツ団体であること(鴻南中学校は大蔵地域在住者も可)。

・地域で開催される行事に積極的に協力できること。

※学校行事やその他地域行事等の都合により使用できない日があります。

申込書類 地域交流センターに設置

申込方法 所定の申込書に記入し、団体の構成員名簿等を添付のうえ、地域交流センターへ提出してください。

申込期間

3月1日(月)～3月12日(金)

利用調整会議 各団体から必ず1名

以上の出席をお願いします。

とき 3月17日(水)19時

場所 地域交流センター 視聴覚室

申込・問い合わせ 地域交流センター

☎083-922-13915



子どもも！大人も！ 子ども会にいらつしやうい

子ども会は、地域の中で異年齢集団での遊びを通じて子どもの健全育成を図る組織です。お兄ちゃん、お姉ちゃんたちと遊びながら、成長する姿を見守ります。生き生きと遊ぶことが、自主性や積極性、自立心を養います。

子ども会はこんなところですよ

子ども会とは各町内ごとに組織され、それぞれに活動内容、会費、役員の選出方法などを地域の実情に応じて決めています。

単子子ども会の連絡会として、吉敷地区子ども会を組織しています。

吉敷子ども会の行事

今年度は感染症対策に配慮しながら「水鉄砲バトル大会」「ほうべん登山」「どんと焼き」等を開催しました。中高生ジュニアリーダーのお兄さん、お姉さんがサポートしています。また、5・6年生の子ども会議メンバーがどんと焼きのビンゴゲームを企画運営してくれました。



ジュニアリーダーが活躍



水鉄砲バトル大会

子ども会に入りたいたい！

今は年齢制限は無く、0歳から加入可能です。なお、役員も保護者だけでなく、どなたでも関わることができます！あなたもぜひ！

今年度は市子連創立60周年行事も計画されています。楽しいですよ。

問合せは会長村上（むくさん）まで。



ビンゴゲーム



どんと焼き



一緒に活動しましょう！

問い合わせ「子ども会育成連絡協議会」
会長 村上竜司（緑ヶ丘）
☎090-20007-3201

吉敷の福祉・健康

WELFARE AND HEALTH

吉敷高齢者生きがいセンター「げんきやかた」で活動する「手芸同好会」をご紹介します。

「手芸同好会」

平成19年5月、げんきやかたでスタートしました。現在会員13名で活動しています。

季節ごとの小物作り！

手芸同好会では、干支や季節の人形を作ったり、おしゃべりをしながら楽しく手を動かしています。時折、外部からの講師をお願いすることもあります。



今後、作成した小物等の展示会をしてみたいと思っておりますので、ご期待ください。

一緒に活動しませんか★

毎月、和やかな雰囲気ですぐに午後の手芸を楽しんでいます。縫物や小物作りが好きな人はもちろん、初心者も大歓迎いたしますので、ご参加をお待ちしています。



【代表者】 升田 恵子

【問い合わせ】

☎924-0685

（升田宅）

【開催日】

毎月第3金曜日

13:00～

【場所】

吉敷高齢者生きがいセンター
「げんきやかた」

人権学習推進啓発作品の表彰が行われました

吉敷地区人権学習推進協議会は、地域の皆さんに身近にある様々な人権問題について考えていただくため、

毎年、地区人権学習推進大会を開催しています。この大会では、毎年、良城小児童、鴻南中学生の代表に人



表彰式の様子



池田 遥佳

良城小学校児童 優秀賞受賞者

〈標語の部〉

磯崎 楓

「ほたと共に 光りかがやく 笑顔の輪」

白木 大誠

「思いやりが 吉敷をてらす 希望の光」

喜嶋 夢佳

「いじめなし 笑顔が宝石 吉敷地区」

松原 幸穂

「ふるさとの 一つの命 守りたい」

森 太陽

「思いやり 優しさあふれる 地域の輪」

岡村 瑠璃

「やわらかい 笑顔広がる 吉敷地区」

〈作文の部〉

乗安 湊斗

「車いすを体験して」

矢野 優佳

「みんなが楽しく過ごすために」

柏原 深結

「あたたかいまなざしで」

〈ポスターの部〉



渡邊 美結



野村 心優



清水 玲佳



村上 里咲



柳井 絆奈

鴻南中学校生徒 優秀賞受賞者

〈標語の部〉

山本 葵

「ちょっと待て 傷つけないか その言葉」

福岡 咲愛

「笑ってる あの子の心は 雨模様」

藤本 咲来

「一人から広がるいじめのクラスター

予防はみんなの思いやり」

大島 優空

「なくそうイジメ つけようケジメ!!」

〈作文の部〉

松原 弥仔

「転校して分かったこと」

西本 琉晟

「コロナ禍に生きる」

〈ポスターの部〉

仲山 遙華

宮川 うらら

石津 光菜

西田 伊吹

和田 萌衣

柴田 朋花

西村 菜々心

塚本 逢花

内藤 望結

下川原 那美



外村 優奈



古屋 はな



池田 千祥



年藤 優花

権に関する作文やポスター、標語を出品・発表していただき表彰を行っています。今年度は新型コロナウイルスの感染拡大状況を鑑み、やむなく中止といたしました。このため各学校に表彰状をお渡しし、大会の代わりに、学校において表彰式を開催していただきました。

人権学習を推進していきます。学校の授業等を通して人権の大切さを学んだ子どもたちの作品は、どれもその思いが強く表現されています。今後も学校等と連携しながら、思いやりのある心を育む人権学習の推進に取り組んでいきます。



自助と共助で地域の川の水質を 守りつなぐために

吉敷自治会では、令和2年度のコミュニティ活動の一環として、一般財団法人自治総合センターの環境保全促進助成事業補助金（100万円）を活用し、身近にある錦川、前田川、木崎川の美化・美観や衛生の向上のため活動を重ねました。

様々な活動目標を掲げました

本活動を円滑に進めるため、地元住民や環境調査の専門家により構成した「河川浄化委員会」を設置し、「美化・美観」、「衛生」、「広報」3つの活動目標を設定しました。

こうした中、現地踏査、水質調査とその結果の検証、行政への橋渡し役である市議会議員、県議会議員との懇談会や、山口県主催の「やまぐち県政出前トーク」を活用した講習会を開催しました。

また、先進地域への視察研修、次年度からゴミ清掃の日を設けることや、下湯田堰の開放について検討しました。下湯田堰の開放では、大蔵地区の水利組合から協力をいただくなど、多くの目標を掲げながら、叶わなかったこともありました。河川浄化委員会の全員で審議することにより、それぞれ立案したスケジュールを消化することが出来ました。

水質調査の結果、水質は思いのほかきれいでした

まずは専門家と同行し、現地踏査を行い、各河川の現状を理解し、課題などを洗い出しました。水質は、どうなんだろう？と初歩的な疑問がわきましたが、水質は良好であることから、次のステップに進みました。

その後、河川浄化委員会の協議において、前田川、錦川については、淀みによる水の濁りや葦や藻の繁殖に加えて、空き缶やゴミが目立つなどの意見が多く出される中、河川環境に良い効果が期待される一つの改善策として、下湯田堰の開放に繋がりました。



開放後の下湯田堰

自助と共助による取り組みが必要

重要なことは、吉敷地域に住んでいる住民1人ひとりが、ふるさとの川を守り、次世代につなげていくための役割を理解するとともに、日常生活のなかで、四季折々の変化や風景の美しさに気づき、川に親しむ機会をつくることです。

まずは、ごみのポイ捨てをしないなど、基本的なマナーを守り、河川愛護の意識を高める「自助」の考え方が必要です。

これに加え、地域の一斉清掃、ゴミ清掃の日の設定など環境美化への取り組みやホタルの放流や水生植物の保護など自然を生かしたビオトープの取り組み、災害危険箇所の把握や防災意識を高める取り組みなどといった、地域ぐるみによる「共助」の取り組みが今まさに求められます。



木崎川 いこいの水広場

河川浄化のため提言書を作成しました

河川浄化委員会では、本活動を通じて得た成果を風化させないために、提言書を作成しました。

提言書では、「公助」としての立場である行政機関への提言も盛り込んでいます。

この提言書が、皆さんの地域の自然環境の保全に対する意識の高揚につながる一助となれば幸いです。

県・市への提言※一部抜粋

●良好な水質を生かし、木崎川が流れる維新公園内の「いこいの水広場」、「せせらぎ護岸」、「徒渉池」、「三段池」、「ポート池」をリニューアルし親水公園として再活用などビオトープに配慮した取り組みを提言します

●河川内、両岸堤防護岸に土砂の堆積、雑草、樹木、藻が多数繁殖し、流路の妨げとなっているため定期的な堆積土砂、繁殖草の除去、樹木の伐採による防災対策、環境整備を提言します

提言書は、吉敷地域交流センター内吉敷自治会事務局に設置するとともに、吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイトに「自治会」のページで4月からご覧いただけます。

レポート

近所づきあいを大切にしよう

1月24日(日)、認知症をテーマに「吉敷地区社協講演会」を開催しました。
講師の鴻南地域包括支援センターの阿部由紀氏から、認知症の症状や予防などの話を伺い、運動と認知トレーニングを組み合わせた「コグニサイズ」も体験。



その後、寸劇を交えながら、日常生活における認知症の方への対応の仕方を学びました。身近な人たちの寸劇は、笑いに包まれていました。
もし認知症になっても、住み慣れた地域で安心して、笑顔で暮らしていけるように、日頃からの近所づきあいの大切さも話され、参加者は熱心に耳を傾けていました。



可愛い鬼がたくさん!

1月30日(土)、「節分de Y Y」を開催しました。
地域交流センターを中心に活動されている「吉敷美術部」の皆さんを講師に、世界に一つだけの鬼のお面作りに挑戦。クレヨンやクーピーで画用紙にそれぞれの鬼を描き、可愛い鬼をたくさん作りました。
今年もたくさんさんの福が来そうですね!



楽しみながら伝統文化に触れる
地域交流センターで毎月開催されている「伝統文化吉敷いけばなこども教室」。6月から始まった教室も回を重ね、最初はぎこちなかった子どもたちの手つきもぐんぐん上通しています。
季節に合わせた多様なお花を楽しみながら、伝統文化を学んでいます。



勇気を出して鬼退治

2月3日(水)、吉敷つどいの広場「楽楽楽」で、「楽楽楽の節分」楽楽楽の刃」と題し、節分行事が開催されました。
それぞれに羽織と刀を手作りし、いま話題の鬼殺隊になりきってかっこよく記念撮影♪
その後、みんなで楽しく歌を歌っていたら・・・
なんと、二匹の鬼が登場!



果敢に立ち向かう子もいれば、あまりの怖さに泣いてしまう子や、逃げ回る子も。
突然やってきた大きな赤鬼と青鬼に、みんな驚いてしまったようでした。
しかし最後には、涙をこらえて勇気を振り絞り、鬼たちをみごと退治しましたよ!
鬼が去って、ほっと一安心でした。



笑顔の輪を広げよう

2月3日(水)、地域交流センター正面の懸垂幕が掛け替えられました。
この懸垂幕は、地区人権学習推進協議会が中心となり、良城小・鴻南中から募った人権啓発標語から優秀作品を選び毎年製作しているものです。
今年は、良城小5年の磯崎楓さんの標語が選ばれました。
それぞれの思いやりで、吉敷中に笑顔の輪を広げましょう!



「ふるさとだよりよしき」
県コンクールで優秀賞を受賞
令和2年度県公民館コンクールにおいて、「ふるさとだよりよしき」が優秀賞を受賞しました。広報委員会では、地域の皆さまとの双方向の情報発信を目指しています。2月号掲載のとおり、取り上げてほしい話題などを募集中です!





吉敷地区食生活改善推進員監修

健康レシピ

「ちしやなます」

ちしやなますは、山口県の郷土料理で、ちしやをもむようにして和えるので、ちしやもみともいいます。

緑の野菜とカルシウム、タンパク質をとり入れた料理として、自慢出来る郷土料理です。

昔はいりこを炒ってそれをさいたものを用いていましたが、最近は、しらすや酢じめの魚等、いろいろ工夫して作っています。



材料

【4人分】

■ ちしや	140g
■ わかめ(乾)	12g
■ しらす	20g
■ 白みそ	36g
■ 砂糖	12g
■ 酢	20g

作り方

- ① ちしやはきれいに洗い、しっかり水切しておく。
- ② わかめは水にもどして一口大に切る。
- ③ しらすは、熱湯をかけて、ざるにあげておく。
- ④ みそに調味料を加えてよくすり、①②③を食べる直前に和える。

(一口メモ)

ちしやは手でちぎり、作ったら早く食べるようにする。
初夏には酢みそに木の芽をすりこむこともある。

リレーエッセイ

Relay Essay

010

齊藤 忠壽さん(木崎)



—小 景 有 情— コロナ世の母と娘の小景
コロナの世で出会った小景がある。出くわしても普段なら感情も留まることのない小景である。コロナ禍だからこそむしる感動をもらった小景というべきだろう。

この小景は、昨年10月ごろ、図書館で調べものをすまして出口に向かっていった私が出会った、わずかに1分間足らずの場面のことである。

それは外と内とを仕切る小空間、いわゆる出入り口(玄関)スペースの中でのことである。そのスペースの奥まった場所に小机が置かれ、その上に感染症対策のための除菌スプレーが載せてあった。この現在は新型コロナの流行を防ぐために、どこの施設でも、それにより手を消毒するように促している。最近では手をかざせば消毒液が出てくるものになっているが、この小景の当時は、手押しスタイルのもので

あった。

さて、この場面に登場する若いお母さんに連れられた小さい女の子は、3歳少し前ぐらいに見えた。入口の自動ドアが開くと、女の子がさっと小走りにまっしぐらに突き進み、スプレーを押して噴霧状態のアルコールを手につけ、手を合わせてもんでいる。続いて入ってきた母親が「○○ちゃん、お母さんの手にもかけてね」と言いながら、スプレーの下に手を差し出した。娘は「はあい」と短く返事をしてから、母親の願いどおりに2回、機械の押し手を押した。親子の呼吸は見事に合っていた。娘はにっこりと母を見あげ、母親は丁寧にしっかりと「ありがとう」と言ってねぎらったのが分かった。私はその場を通り過ぎ館外に出てしばらくしてから、あの女の子はきっと児童図書館の絵本のコーナーを一目散に目指しただろうと想像した。

改めて振り返ってみて、女の子には、お母さんを手助けした、役に立ったという満足感が素直にただよっていた。母親は、感謝の表現をいつものように幼い娘に表明したと見えた。見事な子育ての物語を垣間見たのだった。





1月	●あいさつの日
2火	
3水	●楽楽楽「ひよこまんじゅうづくり」 10:00～12:00
4木	●町内会長会 18:30～
5金	●ぜったい役立つママの防災力UP講座 10:00～11:00
6土	
7日	●歴史文化講演会 10:00～11:30 ●吉敷ベタンク交流大会 8:30～
8月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●広報委員会 17:00～
9火	
10水	●育児相談 13:30～14:30(受付時間) P.2
11木	●鴻南中学校卒業式 9:30～
12金	
13土	●レノファ山口 VS アルビレックス新潟 14:00～(みらスタ)
14日	
15月	
16火	
17水	●吉敷幼稚園卒園式 10:00～ ●学校施設開放利用調整会議 19:00～ P.2
18木	

19金	●良城小学校卒業式 9:30～
20土	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 9:30～12:00
21日	●レノファ山口 VS ファジアーノ岡山 16:00～(みらスタ)
22月	●吉敷ベタンク同好会練習 9:00～ ●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00
23火	
24水	
25木	●おおとり保育園卒園式 10:00～
26金	
27土	
28日	
29月	
30火	
31水	

4月のおもなイベント

5月	おおとり保育園入園式
8木	鴻南中学校入学式
9金	良城小学校入学式
12月	吉敷幼稚園入園式

「マスクの中はニコニコ笑顔」

皆さんは「夢ごもり生活」のようにお過ごしですか？外出したくても会いたい人がいても躊躇し断念し、もやもやしていませんか。

私は、いつか行けるかもしれないと旅行本を眺めたり、テレビの旅行番組を観たりして旅先へ行った気になって楽しんでます。また、映画や海外ドラマを観て、非日常を感じ余韻にひたっています。

そうかと思うと、すぐ食事時間がきて、日常に戻ります。毎日三食のメニューを考え、作り、片付け……。自分の作る料理にも飽き、やる気がなかなか出ない。気持ちを奮い立たせるために、調味料を揃えたり、新しい食器や使ったことのない食材を取り入れてみたりと楽しめるように試行錯誤しています。いちばん重要なのは簡単に作れて美味しいこと。美味しいものを食べると幸せパワーが充電されます。こういう時期だからこそ、意識してゆったりした時間をとって、心を豊かにしたいなと思っています。

辛いときは、口角をあげて笑顔を作るといつの間にか本当の笑顔になると聞いたことがあります。今だからこそできる楽しいことを探して、見えないけど、マスクの中ではニコニコ笑顔でウィルスも吹き飛ばしたいです。

広報委員 浦 京子

【発行・編集】

吉敷地区広報委員会(〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 地域づくり協議会・吉敷自治会・地区社協

吉敷地区地域づくり協議会ウェブサイト・フェイスブック
<https://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

